

こどもとつくるこどもの居場所 『放課後自習寺』



申請事業の概要

愛荘町内の無住職寺院「勝光寺」を活用し、子どもが主役となる無料の「居場所・遊び場」を提供しています。

小学校の授業時間短縮による「放課後の居場所不足」と地域の「空き寺問題」の同時解決を目指します。



進捗① お泊まり会の実施

なにして遊ぶ？きめるのは子どもたち！

- 小学生19名が参加。(8/24-25)
- 事前の「こども会議」で自らスケジュールを企画し、当日の夕食作りやきもだめしを実行。
- 子どもの「やりたい」を大人が支えることで、達成感を提供。
- 異学年・異年齢交流で「ゆるやかな繋がり」を創出。



進捗② DIYイベントの実施

子どもや地域の方とお寺をDIY

- 愛荘町内外問わず、世代を超えて延べ25人が参加。2日間で中庭の整備を行った。
- 子どもたち向けにも地元工務店の（株）西川工芸に教わりながら、壁づくり体験を実施。子ども14名、大人の指導者3名で、2時間かけて新しく壁を制作。



事業の3つの特徴

1. 無登録・無料の居場所

経済格差や特性の有無に関わらず、すべての子どもが通える場所。

2. こどもとつくる（主体性育成）

子ども自身がイベント企画を行う課題解決型学習（PBL）を実践。



3. 大人の友達が見守る

スタッフは子どもと横並びの関係で「やってみたい」を応援。



今後の課題・気づき



収益基盤の確立

利用者の増加や開所日拡大の要望があり、サブリースやマンスリーサポーター等による持続可能な資金確保を行う必要があります。



属人化からの脱却と体制づくり

現場を支えるスタッフの入れ替わりが毎年あり、人材確保に苦労しています。次世代ディレクターの育成や、「地域で子どもを見守る体制づくり」のためにも、地域ボランティアが主役となる体制への移行を模索しています。